







早稲田大学
大隈記念大学院
公共経営研究科







活動記録



日時	イベント	概要
12月10日	トップセミナー 寺脇 研氏	元文部科学省大臣官房審議官
11月28日	国家行政学院(中国)からの訪問団受け入れ	<p>昨年度に引き続き、本研究科の箇所間協定校である中国・国家行政学院の訪日研修団 54 名が来校しました。本研究科の片木教授が「日本の危機管理」のテーマで特別講義を行うとともに、本研究科教員・学生との懇親会を行い、交流を深めました。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;">   </div>
11月26日	トップセミナー 中川 秀直氏	元自民党幹事長
11月12日	トップセミナー 斉藤 邦彦氏	元駐米大使
10月22日	トップセミナー 手嶋 龍一氏	元NHKワシントン支局長



日時	イベント	概要
10月21日・22日	GPPN* 国際会議参加	<p>北京大学政府管理学院において開催された GPPN 国際会議に、研究科長である縣公一郎教授が出席いたしました。二日間に渡る本会議では、"Harmonizing Globalization: Seeking Solutions to Common Problems"のテーマのもと、基調講演ならびにパネルセッションが実施されました。</p> <p>*GPPN...「世界公共政策ネットワーク」は、コロンビア大学・国際関係・公共政策大学院(SIPA)、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス(LSE)、シアンスポ(パリ政治学院)の三校により設立された公共政策系大学院の世界的ネットワークである。学生交流、教育・研究方法の共同開発、国際会議開催による情報交換など、活動の場を広げている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>
10月8日	トップセミナー 小野田 寛郎氏	小野田自然塾財団初代理事長 元日本陸軍少尉



日時	イベント	概要
8月29日	ワシントン大学公共政策大学院(アメリカ)との箇所間協定締結	<p>公共経営研究科は、ワシントン大学公共行政大学院(エヴァンススクール)との箇所間協定を締結いたしました。ワシントン大学との協定締結は、ポートランド州立大学、ジョージ・ワシントン大学、ニューヨーク大学、コロンビア大学に続き、北米5校目の協定校となります。今後は本研究科の海外実習科目「世界と公共経営 A(実習)」の受入れのほか、両校の教員、生徒の往来、共同研究等を行ない、協働連携の推進を目指します。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;">   </div>
8月26日	ニューヨーク大学公共行政大学院(アメリカ)との箇所間協定締結	<p>公共経営研究科は、ニューヨーク大学公共行政大学院(ワグナーズクール)との箇所間協定を締結いたしました。今後は両校の教員、生徒の往来の他、セミナーの開催、共同研究等を行なうことにより一層の交流を図り、協働連携の推進を目指します。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;">   </div>
7月23日	トップセミナー 日野原 重明氏	聖路加国際病院理事長
7月9日	トップセミナー 山之内 秀一郎氏	元JR東日本会長 前宇宙開発事業団理事長



日時	イベント	概要
7月2日	トップセミナー 太田 昭宏氏	公明党委員長
6月25日	トップセミナー 堤 清二(辻井 喬)氏	セゾン文化財団理事長(作家)
6月12日	忠清南道(自治行政局)との箇所間協定締結 特別講演会 ゲストスピーカー:李完九(イ・ワング)氏(大韓民国・忠清南道 知事) 演題:「韓日交流の歴史から明るい未来を考える」	<p>公共経営研究科(大隈記念専門職大学院)は、忠清南道行政自治局(韓国)との箇所間協定を締結いたしました。今後は相互連携のもと、これからの行政経営のあり方について調査・研究することにより、相互の発展と地域社会の活性化に寄与します。また、忠清南道の知事である李完九氏をお迎えして、「韓日交流の歴史から明るい未来を考える」のテーマで講義をしていただきました。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;">   </div>
6月11日	トップセミナー 野田 佳彦氏	民主党 衆議院議員
6月4日	トップセミナー 石川 九楊氏	書家
5月21日	トップセミナー 小沢 昭一氏	俳優



日時	イベント	概要
5月15日	<p>特別講演会 ゲストスピーカー：スチュアート・トーソン氏(シラキウス大学マクスウェルスクール教授) 演題：「大学間科学技術協力を通じた北朝鮮との関係づくり - シラキウス大学の実践を事例として」</p>	<p>シラキウス大学システム研究所所長であり、2001年より金策工業総合大学(朝鮮民主主義人民共和国)と情報技術交流事業を進めているスチュアート・トーソン氏をお迎えして、「大学間科学技術協力を通じた北朝鮮との関係づくり - シラキウス大学の実践を事例として」について講義をしていただきました。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;">   </div>
5月14日	トップセミナー 若宮 啓文氏	朝日新聞コラムニスト
5月13日	済州大学校公共政策大学院(韓国)との箇所間協定締結	<p>公共経営研究科(大隈記念専門職大学院)は、済州大学校公共政策大学院(韓国)との箇所間協定を締結いたしました。済州大学校との箇所間協定は、ソウル大学校行政大学院、高麗大学政策大学院、延世大学政経大学院、梨花女子大学政策大学院、国民大学校政治大学院について、韓国で6校目となります。今後は両校の教員、生徒の往来の他、セミナーの開催、共同研究等を行なうことによりいっそうの交流を図ります。</p>


日時	イベント	概要
5月9日	国民大学校(韓国)からの訪問団受け入れ	<p>本研究科の箇所間協定先である韓国・国民大学校の学生・教職員 25 名が来校しました。本研究科の石田教授、江上教授、北川教授らが特別講義をするとともに、神奈川県庁を訪問し、神奈川県知事・松沢成文氏、神奈川県議会議員・松田良昭氏などにご講演をいただきました。</p> 
5月7日	トップセミナー 残間 里江子氏	プロデューサー
4月30日	トップセミナー 鈴木 宗男氏	新党大地 衆議院議員
4月23日	トップセミナー 松崎 菊也氏	タレント、作家
4月16日	トップセミナー 中川 秀直氏	元自民党幹事長
4月16日	<p>特別講演会 ゲストスピーカー: 呂曉波(ルウ, シャオポウ)氏(コロンビア大学バーナードカレッジ教授) 演題: 「発展途上から法治国家へ -中国・ガバナンス改革の進歩と挑戦 - 」</p>	<p>コロンビア大学東アジア研究所元所長であり、アジア・ファウンデーション、ワールド・アフェアーズ・カウンシル、米中関係国家委員会(NCUCR)などでブリーフィングを担当する呂曉波氏をお迎えして、「発展途上から法治国家へ -中国・ガバナンス改革の進歩と挑戦 - 」について講義をしていただきました。</p> 


日時	イベント	概要
2008年度		
3月21日	国民大学校政治大学院(韓国)との箇所間協定締結	公共経営研究科(大隈記念専門職大学院)は、国民大学校政治大学院(韓国)との箇所間協定を締結いたしました。国民大学校との箇所間協定は、ソウル大学校行政大学院、高麗大学政策大学院、延世大学政経大学院、梨花女子大学政策大学院について、韓国で5校目となります。今後は両校の教員、生徒の往来の他、セミナーの開催、共同研究等を行なうことにより一層の交流を図ります。
3月4日	コロンビア大学国際関係・公共政策大学院(SIPA)との箇所間協定締結	公共経営研究科(大隈記念専門職大学院)は、コロンビア大学国際関係・公共政策大学院(SIPA)との箇所間協定を締結いたしました。コロンビア大学との箇所間協定は、ポートランド州立大学、ジョージ・ワシントン大学について、アメリカで3校目となります。今後は博士後期課程交換留学プログラムの実施に加え、両校の教員、セミナーの開催等を行なうことにより、いっそうの交流を図ります。
1月26日	特別講演会 ゲストスピーカー：李在五(イ・ジェオ)氏(韓国国会議員・元ハンナラ党最高委員) 演題：「韓国の李明博政権の外交・経済路線 日韓関係を中心にして」	元ハンナラ党最高委員であり、李明博次期大統領の側近とされる李在五氏をお迎えして、「韓国の李明博政権の外交・経済路線 日韓関係を中心にして」について講義をしていただきました。  
1月23日	トップセミナー 三枝 成彰氏	作曲家
1月16日	トップセミナー 堀田 力氏	元検察官・弁護士


日時	イベント	概要
1月8日	中国社会科学院研究生院・政府政策与公共管理系(中国)との箇所間協定締結	<p>公共経営研究科(大隈記念専門職大学院)は、中国社会科学院研究生院・政府政策与公共管理系(中国)との箇所間協定を締結いたしました。社会科学院との箇所間協定は、中国国家行政学院、中国青年政治学院について、中国で3校目となります。今後は両校の教員、生徒の往来の他、セミナーの開催、共同研究等を行なうことによりいっそうの交流を図ります。</p> 
2008年 1月9日	トップセミナー 小谷 真生子氏	ワールドビジネスサテライト キャスター
12月12日	トップセミナー 堺屋 太一氏	作家
12月5日	トップセミナー 麻生 太郎氏	衆議院議員
11月30日	国家行政学院(中国)からの訪問団受け入れ	<p>昨年に引き続き、本研究科の箇所間協定先である中国・国家行政学院の学生・教職員 38 名が来校しました。本研究科の石田教授が特別講義をするとともに、本研究科教員・学生との懇親会を行い、交流を深めました。</p>  

日時	イベント	概要
11月28日	トップセミナー 岡本 薫明氏	財務省主計官
11月21日	トップセミナー 李 鳳宇氏	映画プロデューサー
11月14日	トップセミナー 西原 理恵子氏	漫画家
11月7日	トップセミナー 大島 賢三氏	前国連大使
11月6日	台湾淡江大学・早稲田大学大学院公共経営研究科共催シンポジウム 『アジア太平洋地域における日本と台湾』	<p>本研究科との箇所間協定先である淡江大学(台湾)をお招きして、共催シンポジウム「アジア太平洋地域における日本と台湾」を開催しました。当日は本研究科の石田教授、ならびに淡江大学の李志強教授、王高成教授、任耀廷教授、郭秋慶教授、鄒忠科教授、蔡青龍教授、黄介正教授が講演を行いました。また、本大学政治経済学術院の山本武彦教授、アジア太平洋研究科の天児慧教授より特別講演が行われました。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;">   </div>
11月1日	梨花女子大学政策大学院 10周年記念・国際シンポジウム	本研究科との箇所間協定先である梨花女子大学・政策大学院が10周年を記念し、国際シンポジウムを開催しました。本研究科より石田教授、江上教授がソウルへ赴き、同シンポジウムに参加しました。
10月31日	トップセミナー 田中 均氏	元外務審議官

日時	イベント	概要
10月27日	早稲田大学創立125周年記念シンポジウム 『～ローカル・マニフェストの新天地～』	<p>「シンポジウム～ローカル・マニフェストの新天地～」 本研究科の北川教授が、「地域からの改革～地方議会と執行部のあり方～」について講演を行いました。</p> <p>「闘う議長座談会」 パネリスト：松田良昭(神奈川県議会議長)、上澤義一(飯田市議会議長)、橋場利勝(北海道栗山町議会議長)、溝部幸基(北海道福島町議会議長) コーディネーター：片木淳(公共経営研究科教授)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
10月24日	本学創立125周年記念講演会 片岡寛光名誉教授の講演会	演題「明治国家を建設したリーダー群像の中の大隈重信」
10月17日	トップセミナー 佐藤 ゆかり氏	衆議院議員
10月10日	トップセミナー 鳥越 俊太郎氏	ニュースの職人
10月3日	フィンランド国会議員 マージャ・ティウラ氏(未来委員会委員長)講演会	演題 「フィンランド国会・未来委員会の活動について～フィンランド国の未来構築に向けて」
9月28日	日独シンポジウム 『地方分権の可能性とリスク - 日独比較研究』	「ドイツにおける地方自治改革の概要」「改革阻害要因としての財源制約」「パートナーとしての市民」 「地方政治の活性化：ローカルパーティの発生」「地方政治改革と市議会機能の強化」「自治体での効率化 - その現状と展望」パネルディスカッションなど




日時	イベント	概要
9月13日	ブカレスト大学経営・管理学部(ルーマニア)との箇所間協定締結	<p>公共経営研究科(大隈記念専門職大学院)は、ブカレスト大学経営・管理学部(ルーマニア)との箇所間協定を締結いたしました。ブカレスト大学との箇所間協定は、ヨーロッパに立地する大学との初めての締結となります。今後は両校の教員、生徒の往来の他、セミナーの開催、共同研究等を行なうことによりいっそうの交流を図ります。</p>
8月21日	ジョージ・ワシントン大学政治管理大学院(アメリカ)との箇所間協定締結	<p>公共経営研究科(大隈記念専門職大学院)は、ジョージ・ワシントン大学政治管理大学院(アメリカ)との箇所間協定を締結いたしました。ジョージ・ワシントン大学との箇所間協定は、国家行政大学院(中国)、ポートランド州立大学(米国)、ソウル大学行政大学院(韓国)、高麗大学政策大学院(韓国)、延世大学政経大学院(韓国)、梨花女子大学政策大学院(韓国)について、7校目となります。今後は両校の教員、生徒の往来の他、セミナーの開催、共同研究等を行なうことによりいっそうの交流を図り、ジョージ・ワシントン大学との協働連携推進を目指します。</p> 
7月18日	トップセミナー 秋山 耿太郎氏	朝日新聞社代表取締役社長
7月11日	トップセミナー 朴 正淑氏	韓国テレビドラマ「チャングムの誓い」王妃役
7月4日	トップセミナー 佐藤 優氏	外交評論家(大宅壮一ノンフィクション賞受賞者)
6月27日	トップセミナー 金田 直巳氏	エイアイエス株式会社 代表取締役会長
6月20日	トップセミナー 谷内 正太郎氏	外務事務次官
6月13日	トップセミナー 塩川 正十郎氏	元・財務大臣

日時	イベント	概要
6月7日	高麗大学(韓国)最高位政策課程からの訪問団受け入れ	<p>本研究科の箇所間協定先である韓国・高麗大学の最高位政策課程より学生・教職員 37 名が来校しました。本研究科の江上教授が「沖縄;もうひとつの日本」のテーマで特別講義をするとともに、本研究科教員・学生との懇親会を行い、交流を深めました。</p> 
6月6日	トップセミナー 岡田 秀一氏	元・首相秘書官(小泉純一郎 内閣)
5月30日	トップセミナー 成毛 眞氏	インスパイア社長・元日本マイクロソフト社長
5月16日	トップセミナー 大石 芳野氏	写真家
5月9日	トップセミナー 石原 信雄氏	元内閣官房副長官
4月25日	トップセミナー 王 毅氏	駐日中国大使
4月18日	トップセミナー 河口 洋一郎氏	CGアーティスト・東京大学大学院教授
2007年度		
1月24日	トップセミナー 山崎ハコ氏	歌手
1月10日	トップセミナー 山本容子氏	版画家
12月20日	トップセミナー 筑紫哲也氏	ニュースキャスター


日時	イベント	概要
12月6日	トップセミナー 渡部恒三氏	衆議院議員
11月30日	国家行政学院(中国)からの訪問団受け入れ	<p>本研究科の箇所間協定先である中国・国家行政学院の学生・教職員 43 名が来校しました。本研究科の塚本教授が「規制改革の現状と課題」について講義するとともに、本研究科教員・学生との懇親会を行い、交流を深めました。</p> 
11月22日	トップセミナー 鈴木宗男氏	衆議院議員、新党大地代表
11月8日	トップセミナー 福田博氏	前最高裁判所判事
11月2日	梨花女子大学政策大学院、社会科学部(韓国)との箇所間協定締結	<p>公共経営研究科(大隈記念専門職大学院)は、梨花女子大学政策大学院、及び社会科学部(韓国)との箇所間協定を締結いたしました。梨花女子大学との箇所間協定は、国家行政大学院(中国)、ポートランド州立大学(米国)、ソウル大学校行政大学院(韓国)、高麗大学政策大学院(韓国)、延世大学政経大学院(韓国)について、6校目となります。今後は両校の教員、生徒の往来の他、セミナーの開催、共同研究等を行なうことによりいっそうの交流を図り、梨花女子大学との協働連携推進を目指します。</p>
11月1日	トップセミナー 中川秀直氏	衆議院議員、自由民主党幹事長
10月18日	トップセミナー 加藤紘一氏	衆議院議員
10月4日	トップセミナー 米沢富美子氏	慶應義塾大学名誉教授、物理学者


The Okuma School of Public Management


日時	イベント	概要
8月17日	延世大学政経大学院(韓国)との箇所間協定締結	公共経営研究科は延世大学政経大学院と協働連携に向けた協定を結びました。これにより両校の教員、生徒の往来の他、セミナーの開催、共同研究等を行なうことが可能となりました。今後はよりいっそうの交流を図り、両校の更なる発展を目指します。
7月12日	トップセミナー 奥田碩氏	トヨタ自動車相談役、日本経済団体連合会前会長
7月4日	特別講演会 ゲストスピーカー:エズラ・F・ヴォーゲル氏(ハーバード大学名誉教授) 演題:「日中共存」	日本及びアジアにおける研究で著名であり、「ジャパン・アズ・ナンバーワン」の著者としても知られるエズラ・F・ヴォーゲル氏(ハーバード大学名誉教授)をお迎えして、「日中共存」について講義をしていただきました。
6月28日	トップセミナー 山口香氏	武蔵大学助教授、柔道家
6月27日	特別講演会 ゲストスピーカー:谷内正太郎氏(外務事務次官) 演題:「対外政策におけるリーダーシップ」	「パブリックリーダーシップ」講義の一環として、現職の外務事務次官である谷内正太郎氏をゲストスピーカーに招き、「対外政策におけるリーダーシップ」について講義をしていただきました。
6月23日	特別講演会 ゲストスピーカー:小山政彦氏(船井総合研究所 代表取締役社長) 演題:「日本型リーダーシップのあり方」	本研究科のメセナ・サポート・メンバーである船井総合研究所の代表取締役社長であり、本学理工学部OBでもある小山政彦氏に「日本型リーダーシップのあり方」について講義をしていただきました。
6月14日	トップセミナー 高村薫氏	作家

日時	イベント	概要
6月6日	広島県三次市と協働協定を締結	<p>早稲田大学大学院公共経営研究科(科長:石田光義)と広島県三次市(市長:吉岡広小路)は、お互いの特性を生かした学問と実践の融合を目指して、協働連携の基本協定を締結いたしました。</p> <p>公共経営研究科として基本協定を締結した自治体は茨城県牛久市、山口県宇部市に続いて3件目となります。</p> 
5月31日	トップセミナー 梶原拓氏	前全国知事会会長、前岐阜県知事
5月10日	トップセミナー 前原誠司氏	前民主党代表
4月19日	トップセミナー 手嶋龍一氏	元 NHK ワシントン支局長、国際ジャーナリスト
4月3日	大隈記念タワー移転記念シンポジウム	<p>「グローバル化と公共経営」</p> <p>榊原英資氏 ダグラス・モーガン氏 姜聲鶴氏 李秀峰氏 田勢康弘氏 手嶋龍一氏</p>  

The Okuma School of Public Management

日時	イベント	概要
2006 年春	大学院公共経営研究科博士後期課程の開設	<p>2003 年度に開設致しました専門職学位課程に加えて、2006 年度には、博士後期課程を開設し、社会人学生に対する積極的な学位授与と、公共経営分野における研究者養成に着手致します。研究指導教員 8 名の下で、入学定員 8 名・収容定員 24 名の規模でスタート致します。授与される学位は、博士(公共経営)早大:Ph.D in Public Management です。</p> <p>国際的見地に立ったとき、日本社会で活躍する社会科学分野での博士学位所得者の数は、極端に少ない状況です。この現状を少しでも打開するため、公共経営という分野の持つ実質性の強い特徴を基盤として、社会での実務経験が研究に活かされ、また研究成果が社会実務へと反映されるよう、この博士後期課程が社会と大学の結節点となって、理論と実践の協力と融合を図ります。</p> <p>研究指導の特徴として、各学生に対し、そのテーマに即した指導教員 3 名による共同研究指導体制を採用すると共に、少なくとも年 2 回、国内外で開催される研究会やシンポジウムでの博士論文進捗報告を義務付け、学位取得を大いに促します。</p>
2006 年春	<p>新校舎 棟の完成と研究科の移転</p> 	<p>創立 125 周年に先駆け、大隈老公『人生 125 歳説』に因んで、高さ 125 尺の大隈講堂の真向かいに、250 尺の新校舎 棟が完成し、公共経営研究科は同棟へ移転致します。16 階建て同棟のうち、14・13・12・11・9・8 階合計 6 フロアを専有致します。最新設備の教室、ゼミ室、PC 端末室等において、最先端の研究成果を大学院教育に反映させて参ります。</p> <p>加えて、資料室、自習室及びラウンジを充実させて、研究科学生が相互に十分な情報交換を行い、これまで以上に自主的に研鑽できる学修環境を整備致します。また、専任教員には、最新鋭の研究室が確保され、益々研究向上に邁進する所存でございます。</p>
2006 年度		
12 月 14 日	トップセミナー 宮本亜門氏	舞台演出家

日時	イベント	概要
11月24日	株式会社M & Aコンサルティング代表取締役 村上世彰氏 講演会	<p>村上世彰氏 講演会 + 北川教授との対談 「コーポレートガバナンスの向上により目指すもの」</p>  <p>< 北川教授との対談 ></p>
11月18日	政策担当秘書資格試験 説明会	<p>公共経営研究科では、政策担当秘書資格試験の説明を実施いたします。 当日は、同試験の説明に加え、早稲田大学 OB・OG の現職政策担当秘書の方々をお招きし、仕事内容等のご説明をいただく予定です。公共経営研究科学生は勿論、早稲田大学学部生・他研究科学生も興味のある方は是非、参加してください。</p> <p>内容： 政策担当秘書資格試験の概要 現職政策担当秘書からの仕事の内容等の説明 質疑応答</p>
11月30日	トップセミナー 原研哉氏	グラフィックデザイナー

日時	イベント	概要
11月20日	「戦略的成果指向型政府マネジメントを実現する財務管理データベースの開発」研究会	<p>小林麻理教授が研究代表を務める研究会が下記のとおり開催されました。</p> <p>報告テーマ及び報告者</p> <p>「北上市における戦略的行政経営への転換の取り組み」 北上市企画部政策企画課 行政経営係長 高橋謙輔 氏</p> <p>「EAとは何か。公共分野への適応事例」 みずほ情報総研株式会社 清水英順 氏</p> <p>「EAの概要と実績測定参照モデル」 東京富士大学 武藤篤生 氏</p>
11月7日	<p>早稲田パブリックマネジメント第三号 発行</p> 	<p>03号は特集「マニフェストはこう作る」をテーマに行政・報道・学校・病院の現場でのマニフェストの取り組み今と今後をレポート。</p> <p>パーティ・マニフェストの最新状況、広がるローカル・マニフェスト推進ネットワークをレポート。首長連盟座談会、地方議員座談会。</p> <p>ローカル・マニフェストの活用方法を柱に「情報公開要綱：犬山市、多治見市、お願いから約束へ：柳川市、合併マニフェスト：新潟市、住民アンケート評価：福井県、市民委員会による評価：神奈川県、議会版マニフェスト：東京都議会選挙」数々の事例を紹介。</p>
11月2日	トップセミナー 大塚陸毅氏	JR東日本社長
11月1日	<p>公共経営研究科主催 独立行政法人経済産業研究所 鶴 光太郎氏 講演会</p>	<p>講師：鶴 光太郎氏(独立行政法人経済産業研究所 上席研究員/慶應義塾大学特別招聘教授)</p> <p>演題：銀行のガバナンス ～預金者による規律付け</p>
10月19日	トップセミナー 高見裕一氏	日本環境財団理事長
10月5日	トップセミナー 増田寛也氏	岩手県知事


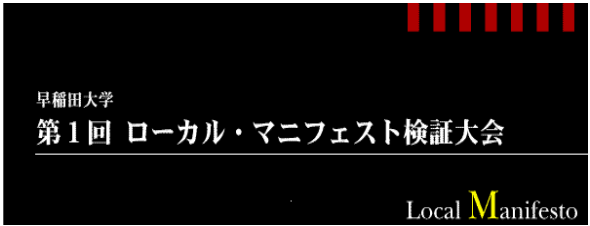
日時	イベント	概要
9月14日 ～ 9月19日	公共経営研究科 夏季集中講座 「自治体経営と地域自立」(In 広島県三次市)	広島県三次市にて、夏季集中講座「自治体経営と地域自立」を開講いたしました。 三次市長、三次市役所のご理解・ご協力のもと、参加した研究科学生(19名)は、5日間にわたり、三次市マニフェストの現地調査・検証を行いました。最終日には市民公開シンポジウムにて、研究科学生(4グループ)が各自調査した三次市マニフェストの進捗状況・今後の展望や課題等についての結果の報告をいたしました。
7月30日 ～8月4日	公共経営研究科 夏季集中講座 大隈地域創生講座開講(In 佐賀)	佐賀県および佐賀県佐賀市にて、公共経営研究科の夏季集中講座として、「大隈地域創生講座」が現地にて開講いたしました。 公共経営研究科初の試みとなる大隈重信誕生の地にて講義開講には、本研究科学生20名以上が参加し、佐賀県・市内のマスコミにも数多くクローズアップされました。 公共経営研究科は、このような現場での教育を重視し、この大隈地域創生講座のほか、広島県三次市での集中講座も企画しています。
7月13日	トップセミナー 隈研吾氏	慶応大教授、建築家「建物と街をつくる」
6月30日	公共経営研究科主催講演会 引委員会 柴田 愛子氏 講演会	公正取 講師：柴田愛子(公正取引委員会委員) 演題：消費者利益と独禁法の改正～国際的視点から
6月22日	トップセミナー 稲盛和夫氏	京セラ名誉会長「事業と人をつくる」
6月15日	トップセミナー 井村雅代氏	女子シンクロナイズドスイミング指導者「五輪メダリストをつくる」
6月2日	公共経営研究科主催講演会 学 Pan Suk Kim 教授 講演会	延世大 演題：“New Development of the Senior Civil Service in the Korean Central Government and Its Implication”
6月1日	トップセミナー 逢坂誠二氏	北海道ニセコ町長「地域をつくる」
5月11日	トップセミナー 岡田克也氏	民主党代表、衆議院議員「政権党をつくる」

日時	イベント	概要
4月20日	トップセミナー 坂村健氏	東京大学教授、トロン開発者「ユビキタスコンピューター社会をつくる」
4月14日	宇部市との基本協定締結	これまで宇部フロンティア大学や早稲田大学プロジェクト研究所「社会システム工学研究所」などにて産学官連携にあった公共経営研究科と山口県宇部市は正式に箇所間にて基本協定を締結いたしました。公共経営研究科として基本協定を締結した自治体は茨城県牛久市に続く2つ目となります。
2005年度		
3月25日 (金)	公共経営研究科 2004年度修了生による『政策提言2005』	2004年度公共経営研究科修了生による政策提言発表会(14号館102教室)
2月6日～ 13日	海外大学・大学院との協力関係強化について	石田研究科長、縣教務主任、片木教授が公共経営研究科の国際ネットワークをさらに広げるため、アメリカ、ヨーロッパにて公共経営・政策分野に力を注いでいる大学・大学院を訪問いたしました。今後、公共経営研究科では、既に箇所間協定を締結している大学・大学院も含め、『ダブルディグリー制度』や『交換留学制度』等の発足に向け、準備・調整を進めていきます。 アメリカ：ハーバード大学ケネディスクール、コロンビア大学 SIPA ヨーロッパ：国立行政学院 / ENA(仏)、パリ政治学院 / Sciences Po(仏) シュパイヤー行政大学院(独)
1月22日 (土)	衆議院議員・丹羽雄哉(元・厚生大臣) 特別講演「高齢国家～わが国の社会保障のあり方について」	元厚生大臣の丹羽議員による講演(公共経営研究科学生だけへの特別講演会)。
1月20日 (木)	片岡寛光教授 最終講義 公共の哲学「公共性の概念的枠組み」	公共経営研究科初代委員長を務め、公共経営研究科の活動にご尽力いただいた片岡寛光教授による最終講義。約200名の学生、教職員、OB・OGの方が最終講義に参加されました。


The Okuma School of Public Management

日時	イベント	概要
12月6日 (月)	パリ政治学院 / Sciences - Po ヴェリヨール氏(パリ政治学院)副院長来校	パリ政治学院のヴェリヨール副院長とパリ政治学院へ在外研究にて客員教授として赴任されている坪井教授(政治経済学部教授)が来校され、公共経営研究科石田研究科長と対談されました。
11月22日 (月)	ポートランド州立大学(米国) マーカス・イングル教授(Professor Dr. Marcus Ingle)による特別講演	公共経営研究科と箇所間協定を締結しているアメリカポートランド州立大学のマーカス・イングル教授が来日・来校。公共経営研究科学生のために特別講義を開講して下さいました。 同教授が実践してきたプロジェクトマネジメントをPPP(Private Public Partnership)、地域経営・活性化や大学と地域との協働といった関連で講義およびディスカッションが実施されました。
11月20日 (土)	2004年度 東京財団市区町村職員国内外研修生シンポジウム 「自立した地域社会を目指して」	2004年度東京財団・公共経営研究科協働プログラム 市区町村職員「国内外研修」に参加したメンバーによる総括シンポジウム。 本シンポジウムは、新時代にふさわしい地方自治を確立していくために、「今求められている自治体像とは何か」を探るべく、2004年度東京財団市区町村職員国内外研修プログラムに参加する自治体職員6名が報告者となり開催するものです。 シンポジウムはこれまで早稲田大学、米国オレゴン州ポートランド州立大学(PSU)において開催され、今回が最終回となります。 今回のシンポジウムでは、報告者が研修を通して何を学び、今後はどう生かして移行しているのかについて発表し、参加者の方々と意見交換をいたしたいと思います。
10月20日	トップセミナー 岩城宏之氏	指揮者、エッセイスト
10月15日 (金)	高麗大学校政策大学院(韓国) 社会人学生との交流会	公共経営研究科と箇所間協定を締結している高麗大学校政策大学院の社会人学生および教員約40名が来日し、早稲田大学を訪問されました。今回の訪問にあわせ、早稲田大学にて片岡寛光教授による特別講義、公共経営研究科学生との交流会が実施されました。
10月6日	トップセミナー 鳩山由紀夫氏	衆議院議員、民主党元代表

日時	イベント	概要
9月16日	石田光義 新研究科長就任	片岡寛光研究科長(旧委員長)の後任として、石田光義教授が公共経営研究科長に就任いたしました。
9月	IBM ビジネスコンサルティングサービス(株) 寄附講座『パブリックトランスフォーメーション』 を開講	<p>早大大学院に行革推進者養成講座 IBM子会社と協力</p> <p>早稲田大学と日本IBMのコンサルティング子会社は行政改革の推進役となる人材の養成で協力する。9月30日に早大大学院公共経営研究科に新講座を設置、同研究科に通学する中央省庁や地方自治体の職員に受講を呼びかける。国内外の行革例を教材にして公的組織での問題点の発見・解決法を学ばせる。</p> <p>講座は来年1月下旬までで計13回(1回90分)。IBMビジネスコンサルティングサービス(東京・千代田)の公共事業本部のコンサルタントが講師を務める。公共部門の業務プロセス改革や、政策立案の調査手法、人材育成などを取り上げる。IBMは講座運営でコンサルタント力をアピール。早大は公共経営研究科の魅力を高め学生募集につなげる。</p> <p style="text-align: right;">[9月20日/日本経済新聞 朝刊]</p>

日時	イベント	概要
9月29日	<p>早稲田パブリックマネジメント第二号 発行</p> 	<p>早稲田大学の専門職大学院、公共経営研究科と日経 BP 企画の共同編集による専門情報ムック第2号。本号では特集として「マニフェスト(政権公約)の検証大会レポート」「地域経営と報道の責務」「パブリックマーケット」を掲載。同大学院の教授である北川正恭(前・三重県知事)、筑紫哲也(現ニュースキャスター)も編集・執筆に参加。公共経営、公共事業に携わる行政関係者、民間企業、NPO・NGO の皆様に役立つ一冊。</p>
9月8日 (水)	<p>ローカルマニフェスト検証大会 開催</p> 	<p>公共経営研究科および早稲田大学プロジェクト研究所「マニフェスト研究所(所長 北川正恭公共経営研究科教授)」の主催で、第一回ローカルマニフェスト検証大会を開催いたしました。</p> <p>この検証大会では、2003年度の知事選挙で当選した知事のマニフェストの進捗状況を検証し、マニフェストの意義および課題、今後の展望を検討する目的で開催いたしました。当日は、1000名を越える多くの皆様にご来場いただくことができました。</p>
8月27日 (金)	<p>茨城県牛久市と協働協定を締結</p>	<p>早稲田大学大学院公共経営研究科(委員長:片岡寛光)と茨城県牛久市(市長:池辺勝幸)は、相互連携のもと、活力ある自治体づくりや人材育成を図り、地域社会の発展に寄与することを目的として、互いに支援・協力することに合意し、2004年8月27日に基本協定を締結いたしました。</p>
8月9日~ 8月30日	<p>シアトルインターンシップ実施</p>	<p>アメリカ合衆国ワシントン州シアトルにて夏の約4週間にわたり現地 NPO などの活動について実際に学ぶ。自治体とNPOのコラボレーションが盛んなシアトル地域にあり早稲田大学の協定校であるワシントン大学の全面協力を得て実現したプログラム。</p>

日時	イベント	概要
7月14日	トップセミナー 佐野真一氏	ノンフィクション作家
7月8日 (木)	国家行政学院(中国) 来校	公共経営研究科と箇所間協定を締結している中国国家行政学院の若手幹部候補生約50名が昨年に引き続き、来校しました。本研究科による塚本教授の講義、本研究科の学生との交流会が催されました。また、今回の若手幹部候補生の来校に合わせ、中国国家行政学院の除副院長が来校されました。 この秋には、キャンオンが主体となって実施する中国国家行政学院日本研修プログラムにも公共経営研究科は参加・協力することが決定しております。
6月30日	トップセミナー 堀田力氏	元検事、さわやか福祉財団理事長
6月18日 (金)	高麗大学校政策大学院(韓国)との箇所間協定締結	公共経営研究科(大隈記念専門職大学院)は、高麗大学校政策大学院と箇所間協定を締結しました。公共経営研究科での海外大学との箇所間協定は、中国国家行政学院、米国ポートランド州立大学、ソウル大学校行政大学院に続く4校目となります。今後は両校間での更なる教員・学生の交流および両国における産学官連携推進を目指していきます。
6月18日 (金)	ソウル大学校行政大学院(韓国)との箇所間協定締結	
6月16日	トップセミナー 行天豊雄氏	国際通貨研究所理事長、元大蔵省財務官
6月3日	トップセミナー 有森裕子氏	5輪マラソン銀、銅メダリスト。NPO「ハート・オブ・ゴールド」代表)

日時	イベント	概要
6月	<p>『早稲田パブリックマネジメント』創刊</p> 	<p>日経BP企画と共同で、早稲田大学研究科単独初となる初の学内外向けのムックを創刊。</p> <p>早稲田大学の専門職大学院、公共経営研究科と日経BP企画の共同編集による専門情報ムック。マニフェスト(政権公約)、行政・事務事業評価、PFI・事業民間委託などの理論と最新動向について、豊富な事例と調査データとともに解説します。同大学院の教授である北川正恭(前・三重県知事)、筑紫哲也(現ニュース23キャスター)も編集・執筆に参加。公共経営、公共事業に携わる行政関係者、民間企業、NPO・NGOの皆様に役立つ一冊です。</p> <p>早稲田大学大学院公共経営研究科、日経BP企画 A4変型判 108ページ 定価 2,000円(税込み) ISBN 4-86130-023-1 日経BP企画 2004年6月1日発行</p>
5月21日	<p>早稲田大学大隈記念大学院創立一周年シンポジウム開催(国際会議場)</p>	<p>国際 研究科初の国際会議を国際会議場にて開催。アメリカ、ヨーロッパ、アジア、OECD等各国の行政研究者・実務者を招聘。</p>
5月12日	<p>トップセミナー 中坊公平氏</p>	<p>元弁護士</p>
5月11日(火)	<p>金泳三氏(元韓国大統領/早稲田大学特命教授) 早稲田大学来校・3回目となる講演会開催</p>	<p>昨年の特別講演に引き続き、本年も公共経営研究科学生のみを対象として金泳三氏(元韓国大統領)による特別講演を実施いたしました。</p>
4月21日	<p>トップセミナー 加藤紘一氏</p>	<p>衆院議員、元自民党幹事長</p>

日時	イベント	概要
4月2日	ポートランド州立大学(米国)と箇所間協定締結	東京財団主催「市区町村職員 国内外研修プログラム」の米国での研修プログラムを実施している米国ポートランド州立大学と箇所間協定を締結しました。
2004年度		
3月10日 (水) ~ 3月13日 (土)	石田光義教授、新井篤美客員教授 韓国訪問 『各大学・政府・民間企業との連携会議』 『金泳三元大統領との面談』	韓国能率協会 : 社会人 / 日韓民間企業幹部・幹部候補生向けセミナーにおける連携。 韓国行政自治部: 韓国公務員向け研修プログラム実施への協力。 (政府 / 地方分権推進団) 韓国地方自治体: まちおこし・観光事業・重要文化保護の為に政策をサポート。 (全州市) 高麗大学 : 既に早稲田大学と連携している高麗大学の『政策大学院』との連携。 (政策大学院) 教員ならびに学生の相互派遣や共同プログラムの実施を予定。 KDI : Korea Development Institute(韓国におけるプロフェッショナルスクール / 政策専門大学院)。政府機関「国会予算企画処」の協力を得て、産学官連携の実現を図ります。 金泳三氏講演会: 2004年度5月に金泳三元大統領が来日、早稲田大学にて講演予定。
1月21日 (水)	筑紫哲也教授「情報社会論」 ゲストスピーカー「噂の真相」編集長 岡留安則氏	「噂の真相」編集長 岡留安則氏が筑紫哲也教授講義「情報社会論」にゲストスピーカーとして参加されました。当日の対談・講義風景については、ニュース番組「News23」の取材を受けました。
1月21日	トップセミナー 武村正義氏	元新党さきがけ党首

日時	イベント	概要
1月21日 (水)	韓国能率協会 戦略研究所所長(公共行政 CIO) 呉眞永氏の来校・公共経営研究科教員との対談	韓国能率協会 戦略研究所所長(公共行政 CIO)の呉眞永氏が来校し、公共経営研究科の石田光義教授、新井篤美教授(株式会社テスコ代表取締役社長)と対談致しました。 今後は、日韓両国における実の高い行政改革・産学官連携の実現に向け、お互いに緊密な関係を築くことを約束致しました。 韓国能率協会(Korea Management Association,inc)ホームページ: http://www.kma.or.kr/
2004年 1月13日 (火)	宇部フロンティア大学(山口県宇部市)との 教育事業連携を確認	宇部市と香川学園が協力し、2002年度に開講された宇部フロンティア大学と教育事業連携の確認を宇部市藤田市長立会いのもと、調印致しました。今後、この宇部フロンティア大学との連携をステップとし、宇部市との協定締結、産学官連携事業の発足等の推進を予定しております。
12月18日 (木)	<就職サポートプログラム> 面接特別講座 開設	就職活動サポートの一環として「面接特別講座」を開設。2日間にわたり、自分の考えていることをいかに効果的に表現するかについての講義と実習を行います。本講座については、加藤昌男氏(NHK放送研修センター・エグゼクティブアナウンサー)が担当されます。
12月17日 (水)	岡本行夫氏(内閣総理大臣補佐官)の講演会	岡本行夫氏(内閣総理大臣補佐官)が講演。古川先生の「新しい行政の組織・機能論 B」の授業において、内閣総理大臣補佐官の岡本行夫氏をお招きし、「日本外交」について、お話しをしていただきました。 岡本氏は、昨年イラクにて亡くなられた外交官の奥 克彦氏と井ノ上正盛氏と係わりが深く、お二人の外交官としての生き様を奥氏の大学の後輩である早稲田大学の学生に是非伝えたいということで、今回の講演となりました。
12月17日	トップセミナー 三重野 康氏	第26代 日本銀行総裁
12月15日 (月)	アレクサンドル・ルマンツェフ氏(ロシア原子力大臣)来校・講演	アレクサンドル・ルマンツェフ氏(ロシア原子力大臣)が来日にあわせ、早稲田大学を来校され、公共経営研究科学生、早稲田大学ロシア交換留学生を対象にご講演をされました。

The Okuma School of Public Management

日時	イベント	概要
12月10日 (水)	筑紫哲也教授が墨田区にて野外授業	早稲田大学と連携協定を締結している墨田区からの派遣生である瀬戸さん(一年制コース)が中心となり、筑紫哲也教授の墨田区での野外授業を実現しました。墨田区の京島を散策し、下町風情を残した住居等を見学。多くのマスコミにこの野外授業は取り上げられました。
12月10日	トップセミナー 出井伸之氏	ソニー株式会社代表取締役会長兼CEO
11月25日	メセナサポート懇談会 / 意見交換会	メセナサポート企業の皆様と公共経営研究科執行部・事務局、在学学生との意見交換会を実施。
11月25日 (火)	Session of WOSPM 第3弾 『地方分権のいま ~三位一体改革を問う!』 主催)公共経営研究科 共催)社会システム工学研究所 総合政策科学研究所	コーディネーター:北川正恭氏(大学院公共経営研究科教授) パネリスト :上田清司氏(埼玉県知事) 中司宏氏(大阪府枚方市長) 森真氏(岐阜県各務原市長) 吉岡広小路氏(広島県三次市長) 第1部)パネルディスカッション、第2部)Q&Aセッションとして2部構成で実施。“早稲田出身”の改革派首長による本シンポジウムへの関心は高く、来場者は約400名となりました。当日司会を担当した公共経営研究科学生 奥野さん(1年制コース、三次市派遣生)による報告が早稲田ウィークリーに掲載される予定です。 場所:井深大記念ホール
11月19日	トップセミナー 海老沢勝二氏	日本放送協会会長
11月12日	トップセミナー 福澤 武氏	三菱地所株式会社 取締役社長
10月29日	トップセミナー 渡辺恒雄氏	読売新聞グループ本社代表取締役社長・主筆
10月24日 (金)	インターンシップ成果	東京新聞朝刊の「黙ってられない!」のコナラーで、本研究科在学で東京新聞ヘインターンシップとして研修を行った学生たちが書いた『若者と低投票率』が掲載されました。

日時	イベント	概要
10月23日 (木)	瀬戸正徳さん(1年制コース在学、墨田区派遣生)講演	<p>1年制在学で、墨田区からの派遣生である瀬戸正徳さんが墨田区の産学公連携に関し、講演されました。</p> <p><講演詳細></p> <p>1. 日時 : 2003年10月23日(木)13:30~15:30</p> <p>2. 場所 : 『インキュベーション・オン・キャンパス本庄早稲田』 (使用会議室は未定、当日、掲示等にて誘導致します。)</p> <p>埼玉県本庄市大字東富田字大久保山 1101-3</p> <p>3. 内容 : 事例報告「墨田区の産学公連携に向けた取り組み」 報告 瀬戸正徳氏(墨田区役所職員・すみだ中小企業センター 主事)</p>
10月20日 (月)	<就職サポートプログラム> 文章特別講座 開設	<p>情報ジャーナリズムの加藤先生(読売新聞調査研究本部主任研究員、公共経営研究科客員教授)が中心となって文書特別講座を開設していただくこととなりました。</p>
10月15日 (水)	<p>Session of WOSPM 第2弾 『デジタル情報革命と公共性』</p> <p>金泰昌氏 (将来世代総合研究所所長)</p> <p>筑紫哲也氏(公共経営研究科 教授)</p> <p>黒住眞氏 (東京大学大学院総合文化研究科教授)</p> <p>神保哲生氏(ビデオジャーナリスト)</p> <p>田勢康弘氏(日本経済新聞社論説副主幹)</p> <p>田丸美寿々(キャスター)</p>	<p>本年4月4日に行われた開校式でごあいさついただいた将来世代総合研究所 金泰昌所長と研究科の専任教授として半年が過ぎた筑紫哲也教授が、「デジタル情報革命と公共性」を開催しました。パネリストは金泰昌(将来世代総合研究所所長)、黒住眞(東京大学大学院総合文化研究科教授)、神保哲生(ビデオジャーナリスト)、田勢康弘(日本経済新聞社論説副主幹兼編集委員)、田丸美寿々(キャスター)、筑紫哲也(早稲田大学大学院公共経営研究科教授、ジャーナリスト)の各氏。冒頭、各氏が10分程度の発言をし、その後ディスカッション、フロアーとの質疑応答が行われましたが、終了予定の午後4時を過ぎてもなお続けられるなど活発な意見が交わされました。</p>

The Okuma School of Public Management

日時	イベント	概要
10月8日 (水)	金泳三氏(韓国元大統領)講演会	講演テーマ『東北アジアの安定と平和 - 1994年北核危機と私の対処 -』 日時: 10月8日(水) 14時40分開始 16時10分終了予定 場所: 早稲田大学西早稲田キャンパス 国際会議場 井深記念ホール 主催: 早稲田大学大隈記念大学院 公共経営研究科
10月8日	トップセミナー 谷沢健一氏	元プロ野球選手、現早稲田大学スポーツ科学部 客員教授
10月以降	インターンシップ(自治体)	北川正恭教授(前三重県知事)によるインターンシップ授業です。自治体・公共機関でのインターンシップを希望している学生のニーズに対応。
月1 ~22日	インターンシップ(海外)	約3週間にわたるシアトルでの海外調査を含む講座で、シアトルのNPOにおけるインターンシップの経験をつむことを主眼としています。アメリカにおけるコミュニティビルディング(まちの活性化、まちづくり)について、シアトルNPOでの資金調達、NPO経営の手法など、日本のNPO経営だけでなく会社や組織運営に役立つ点を学んでいきます 現地日程 8月1日~22日
8月	インターンシップ(国内)	公共経営研究科の筑紫教授、加藤教授(読売新聞)、佐瀬教授(東京中日新聞)、中田教授(毎日新聞)、森一夫教授(日本経済新聞)、森治郎教授(朝日新聞)が、学生個々に面接調査を行い、学生の希望に合わせて国内企業に2~4週間のインターンシップ派遣先を決定しました。 派遣先: 自民党、読売新聞、電通、博報堂生活総研、TBS、IBMビジネスコンサルティング、朝日新聞、角川書店、ぴあフィルムフェスティバル、日本経済新聞、毎日新聞
7月16日	トップセミナー 安部修仁氏	株式会社吉野屋ディー・アンド・シー代表取締役社長

日時	イベント	概要
7月5日 (土)	Session of OSP 第1弾 公開シンポジウム 植草一秀教授(公共経営研究科 教授) 北川正恭教授(公共経営研究科 教授)	Session of OSP 植草一秀教授『“日本経済混迷の深層” 誰が、何を、どう間違えたのか?』 北川正恭教授『今、行政がおもしろい』 両教授の講演を中心に公共経営研究科から提供するsessionです。講演以外の部分は、研究科の学生が企画・参加をする形式で行われます。
7月4・5日 (金、土)	公共経営研究科入学説明会	・オープン研究室にて教員による相談 ・入学相談ブース ・オープンラウンジにて在学生による相談
7月2日	トップセミナー 角川歴彦氏	角川ホールディングスCEO
7月1日 (火)	川口市との連携締結	産学官連携と地域貢献を推進しています早稲田大学は、地域振興のための事業モデルや行政評価システム等を創出し、産官学の「知の共創」から生まれる新たな地域貢献のスタイル・あり方を社会に還元していくことを目的として、このほど埼玉県川口市と締結いたします。 多くの知的資産を有する早稲田大学と地域の活性化に取り組む埼玉県川口市が連携し、地域の活性化、個性化を図るための研究と新たな取り組みを展開するとともに、学生、住民、企業の知の創造の場として、ひとつくりを行っていくものです。 川口市からは、既に職員の方を学生として派遣いただいています。
6月25日 (火)	ゲストスピーカー 黒田 忠司氏(総務省)	「米国会計検査院の政策評価活動と米国の業績管理の取組み」について 講師:黒田 忠司 氏 総務省行政評価局評価監視調査官
6月18日	トップセミナー 福原義春氏	資生堂名誉会長

The Okuma School of Public Management

日時	イベント	概要
6月18日 (水)	国土交通省勉強会	国土交通省主催の勉強会で本研究科筑紫教授が「メディアから見た行政スポークスマンについて」というテーマで講演を行います。この勉強会に本研究科学生が参加しました。
6月12日 (木)	金詠三元韓国大統領 講演会 (公共経営研究科学生限定)	金詠三元韓国大統領が研究科の学生に日本語で日韓政治の未来図について講演していただきました。
6月11日	トップセミナー 川淵三郎氏	日本サッカー協会会長
6月10日 (火)	Allan I. Mendelowitz (Director, Federal Housing Finance Board) アメリカ合衆国 連邦住宅金融委員会理事	『After the Bubble: Is Japan's Recent Past America's Future? - 日本の“失われた”10年はアメリカで起こり得るか -』 研究科学生に上記テーマを英語にて講演していただきました。企画のコーディネーター役として、学生の中西さん(2年制)・増井さん(2年制)が本人及び米国大使館と直接交渉をし、講演会手配を実施しました。 共催: アメリカ大使館
6月4日 (水)	William W. Grimes Associate Professor, Boston University ボストン大学国際関係学部助教授(新進気鋭の政治学者)共催: アメリカ大使館	『US Role in Japanese Economic Revival ~ 日本経済再生にアメリカは何ができるのか』 研究科学生に上記テーマを英語にて講演していただきました。企画のコーディネーター役として、学生の加藤さん(1年制)・児玉さん(2年制)に米国大使館と直接交渉をし、講演会手配を実施しました。
5月	韓国ソウル放送(SBC)と共同研究	韓国ソウル放送(SBC)の東京支局長 李 承悦(イースンヨル)氏を訪問学者として受け入れて、当研究科の情報ジャーナリズム関係者と共同研究をしていくことになりました。
5月28日	トップセミナー 中江要介氏	元中国大使
5月24日	古川貞二郎官房副長官(客員教授)を囲む会	古川貞二郎官房副長官を始め、各先生方と学生との間で囲む会が活発に行われています。授業終了後、学生の誘いに快く応じていただき、授業とは別の盛り上がりを見せています。

日時	イベント	概要
5月23日 (金)	メセナ奨学金等奨学金推薦者決定・各企業へ学生の訪問	奨学金希望者30名弱の学生全員にメセナ奨学金を中心に年額50万円の給付奨学金が実現できました。 また、ご協力いただいたメセナ企業各社に学生訪問団を組織し、研究科の活動・学生の研究テーマなどを報告に伺わせています。各社ともお忙しい中、学生を快く迎え入れていただき、十分にお時間を割いてご対応いただいています。
5月14日	ゲストスピーカー 経済産業省	講師: 経済産業省秘書課課長補佐 飯田 健太氏 論題: 『政策決定プロセス研究 電力自由化を題材として』
5月	東京財団との共同プロジェクト締結 “掲載ホームページ” http://www.tkfd.or.jp/division/fellowship/activity/006.shtml	市区町村職員 国内外研修プログラムの公募を開始。本プログラムでは市区町村の係長レベル職員を対象とした6ヶ月の研修を国内および米国で行います。地域社会が抱える諸問題(環境、地域経済活性、社会福祉など)について具体的なテーマを設定し、プロジェクト形式で研修を行います。研修は2004年4月より公共経営研究科で行い(約3ヶ月)、その後、米国オレゴン州ポートランド州立大学 Executive Leadership Institute にて国外研修(約2ヵ月)、最後に公共経営研究科でプログラム総括(約1週間)を行います。
4月30日	トップセミナー 浅野史郎氏	宮城県知事
4月23日	トップセミナー 篠田正浩氏	映画監督
4月16日	トップセミナー 小沢一郎氏	自由党党首
4月4日	早稲田大学大隈記念大学院 公共経営研究科 開校式	『将来世代国際財団・将来世代総合研究所 金泰昌所長による記念講演』 本研究科が開校するにあたってご尽力いただいたメセナ企業関係の方や本年度の新入生など200名近くの方をお招きして、開校式を挙行いたしました。 記念講演としてお話しいただいた金さんのご講演には、同式にご参加いただいた方から内容について多くのお問い合わせをいただくなど、心に残るものでした。 場所: リーガロイヤルホテル東京

日時	イベント	概要
2003年 4月	JICAとのプロジェクト締結	<p>JICA(国際協力事業団)のネットワークを利用して、「行政・公共政策」に関する講座を、オンデマンドでマレーシアに配信する事業を公共経営研究科が行うことになりました。公共経営研究科の専任教員が教材を作成し、講義をJICA東京スタジオで行います。その映像・音声をJICAのネットワークシステムで配信し、受講生は、マレーシアのクアランプールの教室にてライブで受講します。</p> <p>JICAは、一連の授業を映像・音声も含めてパッケージ化し、順次マレーシア以外の国々へも配信します。</p>
2003年度		
2002年 11月13日	<p>開設記念講演会 シンポジウム</p> <p>『構造改革を問い直す 日本再生の道をどう拓く』</p>	<p>コーディネーター:片岡 寛光氏 早稲田大学政治経済学部教授 植草 一秀氏 野村総合研究所主席エコノミスト 見城 美枝子氏 青森大学教授日本郵政公社設立委員 河野 太郎氏 衆議院議員 小宮山 洋子氏 参議院議員 筑紫 哲也氏 ニュースキャスター 塚本 壽雄氏 総務省行政評価局長</p> <p>(肩書きは、講演会当時のものです。)</p>